

歯科矯正学

責任者名：本吉 満

学期：前期

対象学年：4年

授業形式等：講義

◆担当教員

本吉 満(歯科矯正学 教授)

中嶋 昭(歯科矯正学 准教授)

馬谷原 琴枝(歯科矯正学 准教授)

納村 泰弘(歯科矯正学 准教授)

内田 靖紀(歯科矯正学 専任講師)

稲葉 瑞樹(歯科矯正学 助教)

◆一般目標 (GIO)

不正咬合に対する診断，治療の必要性とその意義を理解するため，正常咬合，不正咬合の概念，矯正装置の特徴や処置の実際を修得する。

◆到達目標 (SBO s)

- ①矯正治療の目的と意義を説明できる。
- ②正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。
- ③不正咬合の原因，種類，障害，診察，検査，診断，治療及び予防法を説明できる。
- ④矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。
- ⑤矯正装置の種類と特徴及び使用目的を説明できる。
- ⑥矯正治療によって起こる生体の反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。
- ⑦矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ，その予防法と処置を説明できる。

◆評価方法

平常試験（50％）ならびに定期試験（50％）の結果を基に評価する。

平常試験のフィードバックは、試験解説を行うことで学生へのフィードバックを行い、さらに質問がある場合にはオフィスアワーの活用にて個別学習指導を行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
本吉 満	火曜日 18:00～19:00・講座研究室	motoyoshi.mitsuru@nihon-u.ac.jp	
中嶋 昭	火曜日 18:00～19:00・講座研究室	nakajima.akira@nihon-u.ac.jp	
馬谷原 琴枝	火曜日 18:00～19:00・講座研究室	mayahara.kotoe@nihon-u.ac.jp	

納村 泰弘	火曜日 18:00～19:00・講座研究室	namura.yasuhiro@nihon-u.ac.jp	
内田 靖紀	火曜日 18:00～19:00・講座研究室	uchida.yasuki@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

顎顔面口腔領域における成長発育，不正咬合の病態，原因や不正咬合の治療等を座学形式で理解習得する。平常試験を行い，授業の習得達成度を確認する。

【実務経験】本吉 満：現在，日本大学歯学部附属歯科病院歯科矯正科を主管し行っている不正咬合の治療の実際について，治療概念やスキル，臨床と教科書の現実的なギャップの実態等を経験をもとに教科書を補足しながら解説したいと考えています。

中嶋 昭：現在，日本大学歯学部附属歯科病院歯科矯正科に所属し行っている不正咬合の治療の実際について，治療概念やスキル，臨床と教科書の現実的なギャップの実態等を経験をもとに教科書を補足しながら解説したいと考えています。

馬谷原琴枝：現在，日本大学歯学部附属歯科病院歯科矯正科に所属し行っている不正咬合の治療の実際について，治療概念やスキル，臨床と教科書の現実的なギャップの実態等を経験をもとに教科書を補足しながら解説したいと考えています。

納村泰弘：現在，日本大学歯学部附属歯科病院歯科矯正科に所属し行っている不正咬合の治療の実際について，治療概念やスキル，臨床と教科書の現実的なギャップの実態等を経験をもとに教科書を補足しながら解説したいと考えています。

内田靖紀：現在，日本大学歯学部附属歯科病院歯科矯正科に所属し行っている不正咬合の治療の実際について，治療概念やスキル，臨床と教科書の現実的なギャップの実態等を経験をもとに教科書を補足しながら解説したいと考えています。

稲葉瑞樹：現在，日本大学歯学部附属歯科病院歯科矯正科に所属し行っている不正咬合の治療の実際について，治療概念やスキル，臨床と教科書の現実的なギャップの実態等を経験をもとに教科書を補足しながら解説したいと考えています。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	歯科矯正学 第6版	飯田順一郎，葛西一貴，後藤滋巳，末石研二，槇宏太郎，山城隆	医歯薬出版	2021
参考書1	歯科国試パーフェクトマスター 歯科矯正学 第2版	清水典佳，鈴木里奈	医歯薬出版	2022
参考書2	歯科矯正学エッセンシャルテキスト 第1版	西井 康，新井一仁，小野卓史，須田	永末書店	2023

		直人, 友成 博, 不 島健持, 槇宏太郎, 本吉 満, 森山啓 司, 山口徹太郎		
--	--	--	--	--

◆DP・CP

コンピテンス 3：リサーチマインド

コンピテンシー：3-3

コンピテンス 4：歯科医学および関連領域の知識

コンピテンシー：4-2、4-3、4-4、4-5、4-6

対応するディプロマポリシー：DP3、DP4

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。

◆準備学習時間

授業時間相当（45 時間×2 単位）になるよう、各回について予習（1 時間）と復習（1 時間）を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

矯正・小児歯科学演習（4 年前期）

矯正・小児歯科学実習（4 年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.5	6	矯正治療の歩みと 定義, 意義・目的 (教) pp.1-13	歯科矯正学に対する考え方の変遷と 定義を説明できる。 不正咬合の状態であるところのよう な障害が生ずるか等矯正治療の重要 性を説明できる。	本吉 満	D-5-5 不正 咬合の治療
2		4.5	7	咬合概論 (教) pp.66-77	咬合の定義と概念, 顎位と咬合, 顎 運動を説明できる。	本吉 満	D-5-5 不正 咬合の治療
3		4.12	6	正常咬合 (教) pp.77-85	正常咬合の概念, 種類, 保持される ための条件について説明できる。	本吉 満	D-5-5 不正 咬合の治療
4		4.12	7	不正咬合 (教) pp.85-99	個々の歯の位置異常, 歯列弓形態の 不正, 上下歯列弓関係の不正につい	中嶋 昭	D-5-5 不正 咬合の治療

					て説明できる。 アングルの不正咬合分類法と高橋の分類法を説明できる。		
5		4.19	6	不正咬合の先天的原因 (教) pp.100-109	不正咬合の先天的原因にはどのようなものがあり、それらがどのような不正咬合を引き起こすのか説明できる。	中嶋 昭	D-5-5 不正咬合の治療
6		4.19	7	不正咬合の後天的原因と予防 (教) pp.109-121	不正咬合の後天的原因にはどのようなものがあり、それらがどのような不正咬合を引き起こすのか説明できる。	本吉 満	D-5-5 不正咬合の治療
7		4.26	6	【遠隔】 成長発育概論 (教) pp.14-24	身体の成長発育について説明できる。	納村 泰弘	D-5-5 不正咬合の治療
8		4.26	7	【遠隔】 頭蓋・顎顔面の発生と成長発育 (教) pp.24-42	顎顔面頭蓋の成長発育を説明できる。	納村 泰弘	D-5-5 不正咬合の治療
9		5.10	6	矯正歯科治療に伴う生体反応 (教) pp.122-134	矯正治療によって起こる生体の反応を全身的反応と局所的反応に分けて説明できる。 矯正力に対する歯、歯周組織、顎骨の反応を説明できる。	本吉 満	D-5-5 不正咬合の治療
10		5.10	7	診断 (教) pp.135-144	矯正臨床における診断の特徴と目的を説明できる。	中嶋 昭	D-5-5 不正咬合の治療
11		5.17	6	頭部X線規格写真分析法(計測点) (教) pp.157-160	頭部X線規格写真の計測点の設定を説明できる。	馬谷原 琴枝	D-5-5 不正咬合の治療
12		5.17	7	頭部X線規格写真分析法(計測平面) (教) pp.160-164	頭部X線規格写真の計測平面の設定を説明できる。	馬谷原 琴枝	D-5-5 不正咬合の治療
13		5.24	6	矯正治療における抜歯	矯正治療上の抜歯の意義、適応症、抜歯の部位、連続抜去法を説明でき	馬谷原 琴枝	D-5-5 不正咬合の治療

				(教) pp.175-182	る。		
14		5.24	7	治療方針の立案 (総合評価) (教) pp.183-190	診察および分析結果の総合評価を説明できる。	馬谷原 琴枝	D-5-5 不正咬合の治療
15		5.31	6	【遠隔】 矯正用材料 (教) pp.384-391	矯正材料に関する視覚素材を閲覧し、その用途と使用方法を説明できる。	納村 泰弘	D-5-5 不正咬合の治療
16		5.31	7	【遠隔】 矯正用器械・器具 (教) pp.391-400	器械・器具に関する視覚素材を閲覧し、その用途と使用方法を説明できる。	納村 泰弘	D-5-5 不正咬合の治療
17		6.7	6	顎顔面の成長発育の演習と解説	顎顔面の成長発育について問題演習を行い、解説を受けることでCBTや国家試験に必要とされる重要事項について理解を深め、基礎的知識ならびに理論を列挙できる。	内田 靖紀	D-5-5 不正咬合の治療
18		6.7	7	歯列と咬合の成長発育の演習と解説	歯列と咬合について問題演習を行い、解説を受けることでCBTや国家試験に必要とされる重要事項について理解を深め、基礎的知識ならびに理論を列挙できる。	内田 靖紀	D-5-5 不正咬合の治療
19		6.10	1	平常試験 (教) pp.1-400 (第1回～18回までの内容)	歯科矯正学の歯科診療についての基礎的知識の理解、習熟習得状況を確認でき、理解度のチェックを列挙できる。	稲葉 瑞樹	D-5-5 不正咬合の治療
20		6.14	6	唇舌側弧線装置 (教) pp.217-221	舌側弧線装置、唇側弧線装置の構造、適応症を説明できる。	内田 靖紀	D-5-5 不正咬合の治療
21		6.14	7	顎外固定装置 (教) pp.247-252	ヘッドギア、オトガイ帽装置、上顎前方牽引装置の構造、効果、適応症について説明できる。	馬谷原 琴枝	D-5-5 不正咬合の治療
22		6.21	6	「平常試験(第19回)」の解説	今までの授業内容の習熟を図り、その解説から理解度のチェックを列挙	稲葉 瑞樹	D-5-5 不正咬合の治療

					できる。		
23		6.21	7	エッジワイズ装置の基本手技 (教) pp.229-234	エッジワイズ法の基本手技について説明できる。	稲葉 瑞樹	D-5-5 不正咬合の治療
24		6.28	6	床矯正装置 (教) pp.241-247	床矯正装置, 咬合斜面板, 咬合挙上板の作用機序, 適応症について説明できる。	本吉 満	D-5-5 不正咬合の治療
25		6.28	7	機能的矯正装置 (アクチバートル) (教) pp.252-257	アクチバートルの構造, 作用機序, 適応症, 禁忌症を説明できる。	本吉 満	D-5-5 不正咬合の治療
26		7.5	6	永久歯列期の治療 (教) pp.285-326	永久歯列期の各種不正咬合の治療の考え方を説明できる。	本吉 満	D-5-5 不正咬合の治療
27		7.5	7	保定 (教) pp.327-335	矯正治療における保定の重要性を説明できる。保定の概念, 種類を説明できる。 保定装置の種類と機能を説明できる。 不正咬合の再発, その防止策について説明できる。	本吉 満	D-5-5 不正咬合の治療
28		7.12	6	不正咬合の障害の演習と解説	不正咬合の障害について問題演習を行い, 解説を受けることでCBTや国家試験に必要とされる重要事項について理解を深め, 基礎的知識ならびに理論を列挙できる。	内田 靖紀	D-5-5 不正咬合の治療
29		7.12	7	診断と治療の演習と解説	診断と治療について問題演習を行い, 解説を受けることでCBTや国家試験に必要とされる重要事項について理解を深め, 基礎的知識ならびに理論を列挙できる。	内田 靖紀	D-5-5 不正咬合の治療
30		7.19	6	初診時および診断結果の説明 (教) pp.263-326	視覚素材を活用し, 初診時のコミュニケーション方法や診断結果を分かりやすく説明するために必要な基本的知識を説明できる。	中嶋 昭	D-5-5 不正咬合の治療

31		7.19	7	矯正装置の説明 (教) pp.263-326	視覚素材を活用し、矯正治療に際し、使用する矯正装置について患者や保護者に分かりやすく説明するために必要な基本的知識を説明できる。	中嶋 昭	D-5-5 不正咬合の治療
----	--	------	---	---------------------------	--	------	---------------

